

学校評価から、平成29年度に向けて(4)

校長 小木曾敏樹

「小泉中だより」No.57、No.58、No.59に続いて、学校評価についてです。今回も保護者の皆様から回答いただきました調査用紙の自由記述欄のご意見を順次紹介しますが、繰り返しのようになりますが、特定の個人や集団に関わること、紙面に掲載するには不適切な表現などは、一部修正して掲載、または掲載いたしませんので、ご理解ください。また、あまりにもいただいたご意見が多く、全てを掲載できないことをお許し下さい。



【保護者の方の自由記述より】

《職員全般に関わって》

○校長先生、先生方が一生懸命で助かっています。

(同意文が多数ありましたので、1つにまとめさせていただきました。)

○1年生、入学してから中学校生活に慣れるまで大変でした。学校は楽しいけれど、体力的にも(登下校・部活・朝部活)厳しかったし、緊張しているし、いつ学校に行けなくなるかと思っているような状態でしたが、先生がよく話を聞いてくださり、声かけをしてくださり、対応してくださり、本当にはげまされています。お忙しい中、生活の記録でも温かいはげましがあり、感謝です。これからもご指導よろしくお願ひします。

○兄妹ともに学校が楽しいと言っています。先生方による日頃からの見守り、指導等のおかげと感謝しております。しかし家庭がいい加減のため、身につかないことが多くあり、いつも反省ばかりです。学校と同じ思いで育てていけるよう少しずつ取り組んでいきたいと思っはいるのですが…

○子供が毎日楽しく学校へ行けているのも先生方のおかげです。ありがとうございます。

○思春期の難しい年頃の子供達ですが、先生方のご指導のもと、成長している姿を見るとたくましさを感じています。

▲今の学校には期待が持てない。事なかれ主義の先生も多く、安心できない。

▲子どもが5時間目に先生がタバコ臭いことがあるからやめてほしいと言っています。教育上良くないと思います。

▲先生の好き嫌いで子供に注意するのはどうかと感ずることがあります。

~~~~~

職員に対し、やさしいお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も努力して参ります。

「タバコ」については禁止することはできません。しかし、マナーとしては考えなくてはならないことだと思います。職員個々に対策を講じるよう指導していきたいと思ひます。

「先生の好き嫌いで子供に注意・・・」などということはないと思ひますが、もしあったならば、教師としては失格です。そうではなくても、生徒が勘違いをしていたとしても、勘違ひをさせてしまう何かがあるはずです。全職員が自問自答するよう働きかけていきたいと思ひます。

「期待が」「事なかれ主義」「安心できない」とのご意見は、具体性に欠け、お答えする術がございませんので、ご紹介のみさせていただきます。小泉中職員は、私を含め力不足なところはあると思ひます。しかし、気持ちはまっすぐだと思ひます。保護者の皆さんに、信頼していただける学校づくりに励んでいきたいと思ひます。

## 《生徒指導 & 教育相談に関わって》

- いじめ等もなく、毎日安心して登校させています。
- 時には生徒間でもめたりすることなどもあるようですが、いつも担任の先生が素早く対応してくださっているようなので、とても先生を信頼しています。楽しく学校生活を送れているようなので安心してしています。
- 生徒に関する相談については、しっかり聞いていただいて、また、迅速な対応をいただき、本当に助かりました。
- 子どもの様子をしっかり見ていただき、気になることがあれば伝えていただいているのすごくよくしてもらっています。そのことについてもどうすればいいとかか助けていただければありがたいと思います。
- 子どもを細かく見ていただいているようで感謝しています。
- ▲子ども達がどんな小さなことでも先生に話し、それを小さなことだと思わないで対応してほしい。
- ▲いじめやトラブルがあっても、学校は把握していないし、トラブルを学級の保護者に説明がない（今年に限らず）
- ▲髪の毛を染めたまま学校に行ってる子を見かけたのですが指導等しているのか？

## 《教科指導に関わって》

- ▲教科指導については「教科による」または、先生によるという印象です。

## 《連携に関わって》

- ▲生徒数が多いためかもしれませんが、生徒・先生・保護者との関係が少し希薄のように感じます。

~~~~~

生徒指導、教育相談に関わっては、本校では特に力を入れている部分です。私を含め個々の職員に力不足はあるかもしれませんが、組織として対応していけるよう体制を整えてきたつもりです。生徒に付く、生徒に寄り添うことを大切にしていこうと職員と確認し、いじめ調査や心の健康調査などの調査活動、生徒との懇談など、他校よりも多く行なっていると思います。それで全てが把握できる訳ではありません。気付かなかったこと、対応の不備などあったようでしたらご容赦ください。さらに改善していきたいと思います。

学校で起きたトラブルなどについては、当該生徒の保護者には当然連絡をしますが、その他の方に報告することはいたしかねます。当該生徒及びその保護者の許可なくしては、(今年に限らず)今後も報告はできません。ご理解下さい。

髪の毛を染めたままの生徒を指導しない中学校はほとんどないと思います。本校も当然指導はします。頭ごなしに叱りつける、校地内に一歩も足を踏み入れさせない、そんな指導をしている学校も多くあります。しかし、本校では、それがベストな指導だとは思っていません。帰宅するのか染め直すのか、自己選択、自己決定を促す指導をします。社会のルールや集団生活のきまりを押しつけではなく、考えさせる指導をしています。外から見るとまどろっこしいと思われるかもしれませんが、生徒の成長を見守っていただけるとありがたく思います。

不登校等の問題についても、本校は教育相談に重きを置いて、その子の成長や回復に寄り添います。他校では別室での学習は1時間限りなどのルールがあります。本校ではそういったルールを撤廃しました。一人一人の成長と回復に合わせます。夜に登校する生徒もいます。教室に復帰することだけが成長だとは考えません。

教科指導については、生徒に力を付ける指導を求め、今後も職員は研修に努めます。

東濃地区では2番目・3番目に大きな規模の学校です。生徒と教師の関係は、規模に比べて近いと思っています。保護者との関係については、規模の大きさそのものだと感じ改善が必要だと思っています。

